

# 財政の健全化

## 【現状と課題】

市の財政運営は、財源を的確に把握し、限られた財源の中で、財政の健全性を保ちながら最も効率的な財政運営が行われるように、施策や事業を選択することが重要です。

そのため、中期の財政収支の見通しを立て、将来にわたり安定した、財政経営を目指すために、中期財政計画を策定します。

## 【中期財政フレームの目標指標設定】

歳入歳出における推計や試算の方法は、平成24年度決算額や平成25年度当初予算額を基準として、個々の費目ごとに人口フレーム、過去の収入支出の平均伸び率、制度改正、経済成長率などを見込み推計します。

### 歳入の目標指標

- ①市税
  - ・平成24年度決算額と平成25年度当初予算額を基準に算定します。
  - ・現年度課税分の収入率は毎年度0.1%の向上を目指します。
- ②地方交付税
  - ・普通交付税は、今後も国において地方交付税の予算額が確保されるものと見込み、平成25年度の確定額を基準にし、個人と法人市民税の増減分を考慮し算定します。
- ③国県支出金
  - ・平成24年度決算額と平成25年度当初予算額を基準に算定します。
  - ・扶助費と普通建設事業費に係るものは、歳出と連動させて算定します。
- ④財産収入
  - ・平成24年度決算額と平成25年度当初予算額を基準に算定します。
  - ・土地売払収入は、未利用地の売却代として各年度2千万円の収入を見込み算定します。
- ⑤繰入金
  - ・財政調整基金などは、収支の均衡を調整するものとして、各年度の収支状況により繰入を算定します。
- ⑥市債
  - ・普通建設事業充当市債は、事業費と連動させて算定します。
  - ・臨時財政対策債は、歳入歳出の不均衡是正のため起債するものとしませんが、地方債残高の抑制、後年度の元利償還金の軽減を考慮し、借り入れるものとしします。

### 歳出の目標指標

- ①人件費
  - ・職員数の見込みにより算定します。
- ②物件費
  - ・平成25年度当初予算額を基準として、需要費と役務費は毎年度5%の削減を行うものとして算定します。
- ③扶助費
  - ・社会情勢を見込み、算定します。
- ④補助費など
  - ・平成25年度当初予算額を基準に、補助団体への補助金や報償費の削減に努め、毎年度1%の削減を行うものとして算定します。
- ⑤普通建設事業費
  - ・事業費の年度間の平準化を行い算定します。
- ⑥公債費
  - ・平成24年度までの既発債については、償還予定額により算定します。
  - ・平成25年度以降の新発債については、各年度の起債額で算定します。
  - ・借入利率は2%として算定します。
- ⑦繰出金
  - ・特別会計と企業会計の財政計画による繰入金を一般会計からの繰出金として算定します。

問い合わせ／総合政策課 ☎(43)1112